

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	御代田ふるさとの味開発事業
事業主体 (連絡先)	浅間高原山椒味噌プロジェクト (団体所在地：御代田町 代表：小井土哲雄)
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 オ その他
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	941,950 円 (うち支援金： 728,000 円)

事業内容

①「浅間高原山椒味噌」レシピの開発

これまで特定のレシピがないままプロジェクトメンバーの経験を頼りに作ってきた「山椒味噌」の味の安定性を求め、レシピ開発を進めた。

②試食配布

町内外へ浅間高原山椒味噌の認知度を高めるため、御代田町の一大イベント「龍神まつり」では会場となっている御代田駅前前で300食分、試食機会を設けた。また、上記のレシピ開発にも活かすため、アンケート調査もおこなった。

③里山整備

下記の3つの目的のため、山椒の木農園となる里山を整備した。

1 所有者の高齢化などの理由により手付かずになっている里山に手を入れ、下草刈り等の整備をすることで環境保全に繋げる。

2 ボランティアを募集し、会員とともに里山整備をおこなうことにより、地域住民の交流促進を図る。

3 御代田町産100%の山椒味噌を目指すため、山椒の木農園を作り木の芽の安定供給を図る。

(山椒の木農園となった後も、地域交流の場として提供し続ける。)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①レシピの開発

「浅間高原山椒味噌」のレシピが完成。またそれだけでなく、来年度以降の販売の際、実際に購入に繋がりがやすくなるような山椒味噌の使用方法的レシピも完成した。

②試食配布

冷ややっこに山椒味噌スプーン一杯(約10g)を乗せ、約300人に配布した。同時に実施したアンケート調査は100名分集めることができた。結果は以下の通り。



【龍神まつりでの試食配布】



【里山整備】

【目標・ねらい】

- ①「浅間高原山椒味噌」のレシピを完成させる。
- ②今後の事業展開に向けて、山椒味噌の周知を図る。レシピ開発のための資料を集める。
- ③環境保全や地域交流につなげる。

③里山整備

- ・約 2000 m²の整備を実施
- ・約 20 人の町内在住ボランティアが参加

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・目立った特産品のなかった御代田町にとって新たな特産品が一つ増え、町の盛り上がり期待される。
- ・「浅間高原山椒味噌」をふるさと納税返礼品に登録する。
- ・これまで個人利用の範囲にとどまっていた「山椒の木」が活用できる。3年後の目標として山椒の葉 100 k g の収穫を予定している。
- ・荒地となっている山林など、さらなる土地の整備を予定している。土地の確保ができ次第、順次範囲を広げていく。

※自己評価【 B 】

【理由】

計画当初の予定していた効果が得られた。この事業は今後数年をかけて発展していく事業のため、今後、たくさんの効果を得られるようにしたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある